

地域活性化人材育成事業～SPARC～

ひとや地域(まち・文化・教育)のwell beingに貢献する
文系DX人材の育成シンポジウム

令和6年 7月27日 土

会場 KDDI維新ホール 大ホール

(山口市小郡令和一丁目1番1号)
JR新山口駅下車、北口から直結

対象 高校生・保護者の皆様、全国の大学・
高等学校などの教育関係者の皆様、
地域連携に取り組む自治体、
人材育成、DXに関心のある企業・団体の皆様

進もう。未来は、
私たちの心の中だ。
ひとや地域の課題解決のために



お申込み



現地1,200名
及び
オンライン開催
ハイブリッド方式で行います

https://www.yamaguchi-sparc.jp/form_20240727/

お問い合わせ先

山口大学総務企画部地域連携課
電話:083-933-5444
メール:sh085@yamaguchi-u.ac.jp

プログラム(予定)

14:00 オープニングアクト
14:10 開会挨拶・来賓挨拶
14:30 **基調講演**

ウェルビーイング研究者夫妻による
わかりやすい幸福学入門

演目「ウェルビーイング入門」
講師 前野 マドカ氏

演目「ウェルビーイングと教育」
講師 前野 隆司氏

15:40 **3大学の取組紹介**

ひとや地域のwell beingに貢献する
文系DX人材の養成に向けた各大学の取組紹介

16:30 **パネルディスカッション
「探究学習からPBLへ」**

「DXによる地域課題解決(PBL)」を試行科目として
受講した各大学のみなさまによる意見交換

17:15 閉会挨拶

開催趣旨

様々な世界ランキングで、安心・安全・暮らしやすい国の上位に位置する日本ですが、人間関係や社会的つながりの欠如から孤独感が強く、社会資本や幸福度の観点から世界の中でも低いままとなっています。

高度な情報化により、働き方や学び方、暮らしや生き方が大きく変革していく未来社会で生きることについて、若い人たちにに向けてわかりやすくお話していただきます。

高校生や高校の先生方などには、入試説明ブースも設けています。多くのご参加をお待ちしています。



プログラム(予定)

14:00 オープニングアクト 慶進中学校・慶進高等学校合唱部のみなさん

○「明日のノート」作詞:俵 万智(たわら まち) 作曲:松下 耕(まつした こう)

NHK全国学校音楽コンクール2024高等学校の部課題曲

○「君とみた海」作詞・作曲:若松 敏(わかまつ かん)

14:10 開会挨拶
来賓挨拶

14:30 **基調講演**

ウェルビーイング研究者夫妻によるわかりやすい幸福学入門

「ウェルビーイング入門」

EVOL株式会社代表取締役CEO 前野 マドカ 氏

「ウェルビーイングと教育」

武蔵野大学ウェルビーイング学部長・

慶應義塾大学SDM研究科教授 前野 隆司 氏

SPARC事業において3大学が養成する人材像は「ひとや地域のwell beingに貢献する文系DX人材」です。また、「日本社会に根差したwell beingの向上」は、国の教育振興基本計画のコンセプトにもなっています。このwell beingとはどういうことでしょうか。well being研究の第一人者である前野夫妻のおはなしをお聞きます。

15:40 **3大学の取組紹介**

ひとや地域のwell beingに貢献する

文系DX人材の養成に向けた各大学の取組を紹介します。

① はじめに 山口大学学長特命補佐 丹 信介

② 「ひと・まち未来共創学環の設置に向けて」

山口大学国際総合科学部教授 北西 功一

データサイエンスやデジタル・AI技術を活用して、心の豊かさや社会(まち)の豊かさの視点からひとや地域の課題を発見し、その解決につなげ、かたちにしていく「文系DX人材」を学部等が連携した教育課程(学環)で養成します。この学環についてご紹介します。

③ 「国際文化学部情報社会学科の設置について」

山口県立大学国際文化学部長(教授) 西田 光一

新しい「国際文化学部」のキャッチフレーズは「デジつよ文系」。デジタル社会に強い文系、そして、文系の教養を備えたデジタル人材の育成です。多言語×デジタル(国際文化学科)、デザイン×デジタル(文化創造学科)、データ×デジタル×ビジネスマインド(情報社会学科)について、そこで身につく力と活躍の場についてお話しします。

④ 「文系DX教員養成プログラムを開始して」

山口学芸大学教育学部教授 佐藤 真澄

小中学校や特別支援学校では、電子黒板やデジタル教科書、タブレット端末といったICT機器の活用が進んでいます。「文系DX教員養成プログラム」がめざすのは、こうしたデジタル技術を活用できる「デジ先生」!実際の学校現場の様子を紹介しながら、養成プログラムの概要について説明します。

16:30 **パネルディスカッション「探究学習からPBLへ」**

3大学共同開設科目となる「DXによる地域課題解決(PBL)」を、試行科目として受講した各大学の学生のみならずによる意見交換を行い、デジタル技術も活用しながら、地域課題の解決につなげていくということについて考えます。

モデレーター 山口大学教育・学生支援機構 教育支援センター助教 川尻 剛士

「DXによるPBL合同発表会」



口頭発表風景



ポスター発表風景



授業風景

17:15 閉会挨拶

講師



まえの まどか
前野 マドカ

EVOL株式会社代表取締役CEO。
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属システムデザイン・マネジメント研究所 研究員



まえの たかし
前野 隆司

武蔵野大学ウェルビーイング学部長、慶應義塾大学SDM研究科教授 ウェルビーイングリサーチセンター長、一般社団法人ウェルビーイングデザイン代表理事、日本ウェルビーイング学会会長